

1人1台端末の活用による実践事例 (小・中学校用)

学校名	奈義町立奈義小学校	実践者名	上原 国昭
教科	理科	学年	第5学年
活用内容	撮影、調査活動 意見整理	実践日	令和3年10月6日(水)
		授業活用段階 (岡山県版)	Stage 2
単元・内容等	雲と天気の変化		

活用の概要(目的・活用場面・使用アプリ名を含む)

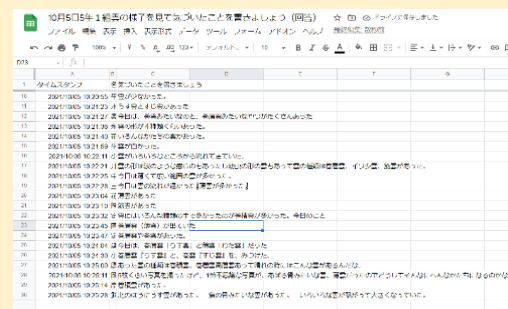
【前時まで】

「雲と天気の変化のかかわり」について、知っていることをJamboardで交流し、実証する仮説を絞る。

【本時】

- 屋外で、様々な雲を観察し、方角ごとの雲の様子を撮影する。
- 観察で分かったこと等をFormsで入力する。
 - 見つけた雲の名前(教科書を参考にする。)
 - 気付いたこと
 - 疑問に思ったこと 等
- 全員の回答をスプレッドシートで共有する。
- 見つけた雲を、テキストマイニングをすることで、その日(晴れの日)に見られた雲の種類と量を可視化しやすくする。
- Classroomの課題で、各自が撮影した雲の写真を提出させる。
- 全員から提出された画像をもとに、「雲の種類当てのクイズ」を行う。

※Jamboard、スプレッドシート、テキストマイニングの画像は、印刷し、各自のノートに貼り付ける。



実践者の手ごたえ	児童生徒・保護者等の主な反応や声
端末を利用する以前は、予想や仮説、気づきの交流に時間がかかり、一部の児童中心で授業が進みがちだったが、端末導入後、各種アプリを組み合わせることで、学習活動が効率的にできるようになり、仮説・検証にじっくりと時間を確保できるようになった。	(児童から) 「自分と同じ考えや、違う考えをたくさん知ることができるのがおもしろい。」「写真や動画で見つけたことを見直すことができるのがうれしい。」